

7月1日から 全面開館します

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、利用制限に協力いただきながら行います。

7月1日から再開するサービス

1. 【閲覧席】 本、新聞、雑誌などを館内で座ってご覧いただけます。
2. 【学習室（本館）、まなぶる一む（帷子分館）】 個人学習ができます。
 ※距離をあけるため席数を減らしていますので、できるだけ短時間で譲り合ってください。
 ※本館3階の学習室を利用する方は、1階受付でお申込みをしてください。
3. 【インターネット閲覧端末】 申請をいただいた上で、お一人30分まで利用できます。
4. 【会議室・和室（本館）】 申請の際に注意点をご確認いただき、使用前後の消毒や換気などをしていただくようお願いします。

引き続き制限するサービス

- ・本館3階休憩コーナーはありません。館内での食事はできませんのでご注意ください。（水分補給は可）
- ・かにつ子タイム、ちびっこかにつ子タイムなどの人が集まる行事は、当面見合わせます。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

フランソワーズ・サガン

(1935～2004年 フランス・カジャール生まれ)
 18歳の時に書いた『悲しみよこんにちは』で批評家賞を受賞し、センセーショナルな作家デビューを果たす。彼女の若さと才能、新鮮なライフスタイルは、作家を超えた時代のシンボルとなり、当時「サガニスト」という言葉が生まれた。他に『ブラムスはお好き』『愛とおなじくらい孤独』（どちらも新潮社）等。

数ある作品の中でも『逃げ道』（新潮社）は、芝居を観ているように生き生きと読めると評価が高い。

第二次世界大戦が激しさを増した1940年6月のフランス。富豪の妻とその愛人、裕福な老婦人、外務省の高官、様々な事情を抱えた男女4人が、占領されたパリを1台のリムジンで脱出するところから物語は始まる。そして道中、ドイツ軍戦闘機の機銃掃討にあって身動きが取れないところを若い農夫に助けられ、数日間農家に滞在することに。不慣れた田舎生活に悪戦苦闘する彼らだが、自分たちが縛られていた固定観念や見栄から解き放たれ、新しい人生観に目覚めてゆく。しかし、その先には思いがけない残酷な結末が待ち受けていた。

強烈な個性を持つ登場人物たちのやりとりはユーモラスで思わず笑ってしまうが、彼らの人間味が強いほど、戦争の理不尽さを感じさせられる作品である。
 （帷子分館 倉知）

陳 舜臣

(ちん しゅんしん 1924～2015年 兵庫県生まれ)
 『枯草の根』で江戸川乱歩賞を受賞してデビュー。1969年『青玉獅子香炉』で直木賞、1991年『諸葛孔明』（中央公論社）で吉川英治文学賞など、数々の文学賞を受賞。『天空の詩人李白』（講談社）が遺作となる。他の著作に『小説十八史略』（毎日新聞社）『阿片戦争』（講談社）など。中国やアジアの歴史・紀行に関する著作多数。

今回ご紹介するのは、『曹操 魏の曹一族』上・下（中央公論新社）です。

「清平の姦賊、乱世の英雄」と評された曹操は、漢王朝末期の洛陽の都で官職に就きました。度重なる反乱で荒廃し疲弊していた時代、稀代の傑物は果たして中原の覇者となってゆきます。

氏が描く曹操は魅力的です。知略にたけ機智に富み、合理主義的かつ冷徹明晰な兵法家、優れた人材を発掘登用し、西域交易が生み出す利益を財源として着眼するなど時代の先を行く革新的人物、そして決断力ある指導者として描かれています。妻や息子たちとのやりとりでは、人間味あふれる姿が垣間見え、曹操の体温が感じられるようです。話中に散りばめられた、曹操が詠んだ詩からも彼の心境と感性、文才がうかがえます。日本の戦国武将しかり、乱世の英雄はやはり魅力的です。

（本館 福井）

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
歴史・伝記			
210.4/オ/	戦国武将の叡智	小和田哲男／著	中央公論新社
	国や民を守るため、名将たちは何を重んじ、どう行動したか。武田信玄、豊臣秀吉、徳川家康など、戦国時代に活躍した名武将から「乱世を生き抜く叡智」を学ぶ。現代にも生かせる教養、人材活用術、リーダーシップの本質を凝縮。		
289.1/ア/	考証明智光秀	渡邊大門／編	東京堂出版
	本能寺で織田信長を討った明智光秀の前半生は謎に満ちている。気鋭の研究者が光秀の出自、合戦や政治、経済、文芸、芸能など幅広いテーマを取り上げ、一次史料を駆使し、最新の学説を参照しつつ、真の光秀の姿に迫る。		
地理			
292.9/ア/	追跡間宮林蔵探検ルート	相原秀起／著	北海道大学出版会
	間宮海峡を発見した男は、北方先住民の力を借りて、サハリンからアムール川へ向かった。200年後、筆者は間宮林蔵の足跡を追いかけて、北のシルクロードを探る…。北辺の地に生きる人々の姿と大自然を描いたルポルタージュ。		
293.7/ウ/	サルデーニャの蜜蜂	内田洋子／著	小学館
	古代ローマから続く養蜂家一族を描く表題作、ルネサンス時代から続く港町でペストの時代の感染との戦いに思いを馳せる「リヴォルノの幻」など、イタリアの日常に潜む美しいものを描く15編。		
社会			
302.3/ブ/	ワイルドサイドをほっつき歩け	ブレイディみかこ／著	筑摩書房
	恋と離婚、失業と抵抗。絶望している暇はない。英国ブライトン在住の著者が、EU離脱、競争激化社会などの大問題に立ち上がる中高年について綴る。PR誌『ちくま』掲載に、現代英国の世代、階級、酒事情の解説を加える。		
332.1/ト/	コロナショック・サバイバル	富山和彦／著	文藝春秋
	新型コロナウイルスによるパンデミックで、世界経済は生産と消費の両方を大幅に抑制せざるをえない情勢である。産業崩壊、金融崩壊、雇用崩壊、経済崩壊の危機との戦いにどう勝ち抜くかを解説する。		
336.5/テ/	できるテレワーク入門	法林岳之／著	インプレス
	新しいワーキングスタイルとして注目を集めている「テレワーク」。テレワークのメリットやリスク、通信回線などの環境、Slack、Zoom、Teamsなどを用いるチャットやビデオ会議、共同編集の方法などを解説します。		
345.2/ハ/	人はなぜ税を払うのか	浜矩子／著	東洋経済新報社
	税金の正体を見極め、その本質を見定める、日本人のための税の教科書。税金を巡る現状、租税の歴史、今の日本における消費税の状況などを取り上げ、人はなぜ税を払うのかを論じる。		
自然科学			
407/カ/	歴史上の科学者たちから学ぶ魅力的な理科実験	川村康文／著	オーム社
	アリストテレス、ガリレオ、ニュートンなど、歴史上の科学者が、「どのような実験を行い、どのようにして物事を発見したか」を、実際の実験で再現し理解する実験書。科学の歴史と、実験の理論も解説する。		
493.7/カ/	図解鎌田實医師が実践している認知症にならない29の習慣	鎌田實／著	朝日出版社
	ふだんの習慣を少し変えて、一生、楽しい生活を続けましょう。72歳になる鎌田實医師が日ごろ実践している認知症予防の習慣を紹介します。コロナに負けない7つの習慣も収録。		
498.3/マ/	歩く力	松村卓／著	文藝春秋
	筋肉ではなく「骨」を意識することで、いくつになっても自分の足で歩ける健康な体を手に入れよう！誰にでも簡単にできる「骨ストレッチ式ウォーキング」を紹介。靴やインソール、靴下が体に与える影響についても解説する。		
技術・家政			
590/ハ/	働く母の暮らしマネジメント	主婦の友社／編	主婦の友社
	家事も育児も夫と平等にシェア、日用品は定期便で届く仕組みを作る、献立はルーティン化で悩まない…。仕事を持つ母13人が、おうち時間をもっとラクにするコツを紹介する。家計管理のコツ、子どもの長期休み対策なども掲載。		

596/ア/	今さら聞けない料理のこつ	有元葉子／著	大和書房
	日持ちする野菜と、すぐに傷む野菜の違いは何ですか？ ゆでた野菜は水にさらしたほうがいいのか？ 包丁はどんなものを選べばいいですか？ 料理にまつわる 85 の素朴な疑問に有元葉子が答えます。		
産業			
601.1/シ/	進化する里山資本主義	藻谷浩介／監修	ジャパンタイムズ出版
	マネー資本主義のアンチテーゼとして、里山資本主義が提唱されてから 7 年。実践者たちへの取材をもとに、各地の里山資本主義の成功要因を明らかにする。人と人とのつながりによって地域活性化を目指す人たちのガイド。		
646/フ/	フクロウ完全飼育	藤井智之／著	誠文堂新光社
	さまざまな種とバリエーションのフクロウを学名、全長、体重、生息環境、食性などのデータと写真で紹介するほか、入手から飼育管理、繁殖までを解説する。全ページカラー化し、個体写真を追加した増補改訂版。		
芸術・絵画			
726.6/ア/	私の絵本ろん	赤羽末吉／著	平凡社
	「スーホの白い馬」「だいくとおにろく」…日本ではじめて国際アンデルセン賞を受賞した絵本画家による、絵本ろん。「良い絵本はなぜ古くならないのか」という創作の根源的な疑問を、平易な言葉でときあかす。		
芸能・趣味			
779.1/ハ/	イライラしたら豆を買いなさい	林家木久扇／著	文藝春秋
	前例にとらわれず、直感にしたがって動いてきた木久扇師匠が贈る生き方指南本。「妻には言い返さない」「仕事はまず動いてから、振り返れ」「老いてもいたずら心を忘れない」など、不透明な時代を生き抜くヒントが満載。		
796.0/モ/	一門“冴えん師匠”がなぜ強い棋士を育てられたのか？	神田憲行／著	朝日新聞出版
	棋界の名伯楽・森信雄が伝えた将棋の強さよりも大切なことは。「冴えん師匠」が「関西の名門」と呼ばれるほど多くの弟子を育てた秘密を探るとともに、個性派ぞろいの弟子の素顔を紹介する。		
日本文学—小説			
913.6/イマ/	じんかん	今村翔吾／著	講談社
	天正 5 年のある晩、織田信長のもとへ急報が。信長に忠誠を尽くしていたはずの松永久秀が 2 度目の謀叛を企てたという。だが、意外にも信長は笑みを浮かべ、語り出したのは…。		
913.6/オノ/	食っちゃ寝て書いて	小野寺史宜／著	KADOKAWA
	作家の横尾成吾はここ数年、鳴かず飛ばずの状態が続いていた。ずっと一人で生きてきた横尾は、今後の身の振り方を考えはじめる。一方、横尾の新しい担当・井草菜種は、自身同様長く停滞中の横尾と本気で向き合いはじめ…。		
913.6/コン/	任侠シネマ	今野敏／著	中央公論新社
	義理人情に厚いヤクザの親分・阿岐本雄蔵のもとに、北千住にある古い映画館の経営再建の話が舞い込んだ。マル暴に監視されながら、阿岐本組の面々は、存続危機の映画館をどう守る!?		
913.6/サク/	家族じまい	桜木紫乃／著	集英社
	認知症の母と、齢を重ねても横暴な父。両親の老いに姉妹は戸惑い、それぞれ夫との仲も揺れて…。大人の諦観と慈愛に満ちた長編小説。		
913.6/タニ/	語らいサンドイッチ	谷瑞恵／著	KADOKAWA
	大阪の鞆公園にある、姉妹でいとなむ手作りサンドイッチ専門店「ピクニック・バスケット」。おっとりした姉・笹子がつくる絶品サンドは、胸の内で大事にしている味に、そっと寄り添ってくれる…。心を癒やす、おいしい物語。		
913.6/タワ/	星に仄めかされて	多和田葉子／著	講談社
	留学中に「母国の島国」が消滅してしまった女性、Hiruko がつくり出した独自の言語〈パンスカ〉は、見知らぬ人々を結びつけ…。「地球にちりばめられて」に続く、国境を越えたサーガ第 2 部。		
913.6/テラ/	水を縫う	寺地はるな／著	集英社
	男なのに刺繍が好きな弟。女なのにかわいいものが苦手な姉。愛情豊かな親になれなかった母…。世の中の普通や当たり前を問い直す、6 人の家族の物語。		

913.6/ナカ/	カインの傲慢	中山七里／著	KADOKAWA
	臓器を抜き取られた死体が相次いで発見された。被害者たちはみな、貧しい家庭で育った少年だった。孤高の敏腕刑事・犬養は点と点をどう繋ぐのか。医療と社会の闇にも迫った警察ミステリ。		
913.6/ナガ/	つながりません	長岡弘樹／[著]	角川春樹事務所
	監督のおれは、スクリプターの真野韻と初めて組んで撮影を行っていた。韻の実姉である日乃万里加の演技力が素晴らしい。順調に撮影は進んでいたが…。映画制作の中で起こる数々の事件を描く。		
913.6/ハセ/	少年と犬	馳星周／著	文藝春秋
	家族のために犯罪に手を染めた男が拾った犬。守り神になったその犬はある意志を秘めていた。人生の無常と犬の神秘性を描いた全6編を収録。		
913.6/フジ/	ほたる茶屋	藤原緋沙子／著	KADOKAWA
	日本橋で「千成屋」の看板を掲げ、御府内のよろず相談を引き受ける女将・お吟。窮地に立つ人の切なる想いに、彼女は応えることができるのか…。人情味溢れる時代小説。		
913.6/ミヤ/	きたきた捕物帖	宮部みゆき／著	PHP 研究所
	江戸は深川、親分の跡を継いで岡っ引きたらんとする北一が、相棒・喜多次やおかみさんの力を借りて成長し、事件を解決していく謎解き×怪異×人情の捕物帖シリーズ、第1弾。		
913.6/モリ/	おいしくて泣くとき	森沢明夫／[著]	角川春樹事務所
	貧困家庭の子どもたちに無料で「こども飯」を提供する「大衆食堂かざま」。その店のオーナーの息子、中学生の心也は、こども飯を食べにくる幼馴染の夕花が気になっていて…。		
913.6/ヨシ/	流星シネマ	吉田篤弘／[著]	角川春樹事務所
	都会のへりの窪んだところにあるガケ下の町。僕はその町で「流星新聞」を発行するアルフレッドの手伝いをしてる。個性的で魅力的な人々が織りなす、静かであたたかな物語。優しい物語の名手による長編小説。		

本館 1 階 展 示 の ご 案 内

■ 7 / 1 (水) ~ 30 (木) ■ 意外と知らない! ? 身近な「文化財」展

「文化財」とは、わたしたちの歴史や文化を今に伝える「もの」や「ばしょ」のことです。可児市も、数々の文化財が大切に守られています。可児市の文化財について紹介します。

ご理解・ご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、利用者の皆様へ下記のとおりお願いします。

1. 入館時に、入館確認用紙へのご記入をお願いします。
万一、利用者感染者が判明した場合に連絡をとるためのものです。それ以外の目的では使用しません。発熱や咳など、風邪症状のある方は入館をご遠慮ください。
2. 入館される方は、マスクの着用をお願いします。
3. 入館時には、手指の消毒をお願いします。
4. カウンター前に数人が並んでいる時は、間隔を開けていただくよう、床の印の位置でお待ちください。
5. 本の返却時には、レシートやふせんなど本の間にはさまっていないか、ご確認のうえ、お返しくください。
6. 開館直後は混み合うことが予想されます。時間帯を変えてご来館ください。
7. 貸出カードを忘れずにお持ちください。

開館時間 【本館】 平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00
※7/21 から 8/27 まで、9:30 開館
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日
7月 6,13,20,27,31日

スマート
フォン用
サイト



「図書館だより」2020年7月号

発行：可児市立図書館 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。